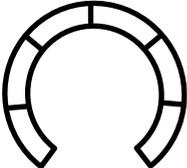
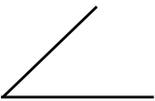
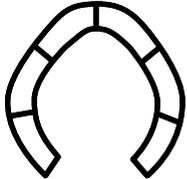
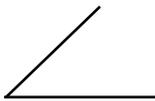
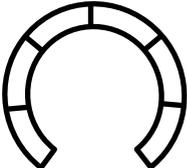
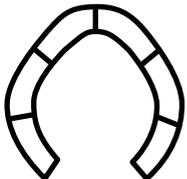
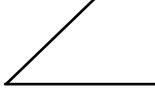
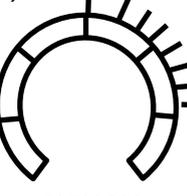
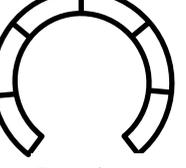
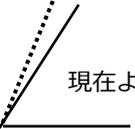


装蹄判断用紙

番号：

肢 別	前 肢				後 肢											
肢 勢	前 望					後 望										
	側 望					側 望										
蹄 形	左					左										
	右					右										
歩 様			先 着 部 位	左			先 着 部 位	左								
				右				右								
疾 病 損 傷 徴	左					左										
	右					右										
多 削 部 位	多削部位				蹄角度の適否				多削部位				蹄角度の適否			
	左	外			内			左	外			内				
	右	内			外			右	内			外				
装 蹄 の 方 針																
記 載 要 領	① 多削部位は原則として下記の記載例に基づいて表現すること。(多削部位を塗りつぶす)															
																
	一側多削		蹄尖多削		両蹄踵多削		一側蹄踵多削		蹄壁鏝削		現状維持					
② 蹄角度の適否は下記の記載例に基づいて表現すること。																
			現在よりもねせる													
現在よりもたてる			現在よりもねせる			現状維持										
③ 「装蹄の方針」欄には、この馬の判断結果を総合して、重点事項を記載する。箇条書きを基本とする。																